

科目名	地域産業論	科目分類	■専門科目群（第1グループ）
			□総合科目群（第2グループ）
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Urban Economics	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	はたけやま あきのぶ	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	畠山 光史	修得単位	2単位
授業のテーマ	都市経済学への入門授業です。		
到達目標	学生は、都市経済学の基礎概念および基本的な分析手法を習得できる。		
授業概要	本授業では、まず都市経済を現状把握するための経済原則を学習します。次いで、都市経済分析の枠組みについて学習します。最後に、都市経済で発生する諸問題について学習します。		
授業計画			
第1回	イントロダクション		
第2回	都市と都市化1（都市の定義、都市化の過程）		
第3回	都市と都市化2（都市化の概念と発展プロセス）		
第4回	都市集積1（都市集中の要因）		
第5回	都市集積2（連関効果）		
第6回	都市規模と都市システム1（都市規模の経済学）		
第7回	都市規模と都市システム2（都市システムと順位・規模法則）		
第8回	前半のまとめ		
第9回	住宅の立地（チューネン・リング）		
第10回	企業の立地（港町と中心業務地区）		
第11回	地価と土地1（地価と土地問題）		
第12回	地価と土地2（土地市場）		
第13回	住宅1（都市の住宅問題）		
第14回	住宅2（住宅の特性）		
第15回	総まとめ		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	授業後には、授業内容を復習し、重要概念および分析手法を再確認してください（1.5時間程度）。		
履修条件 受講のルール	マクロ経済学I・IIおよびミクロ経済学I・IIの単位修得を前提とします。		
テキスト	指定しません。		
参考文献・資料	黒田達朗, 田渕隆俊, 中村良平 「都市と地域の経済学（新版）」 有斐閣（2008）		
成績評価の方法	小テスト(20%), 定期試験(80%) ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・遅刻は欠席と同等に扱います。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。		
オフィスアワー	月曜日4限、水曜日4限とします。		
成績評価基準	2016年以降に入学した学生：秀(100～90点), 優(89～80点), 良(79～70点), 可(69～60点), 不可(59点以下)		

	2015年以前に入学した学生：優(100～80点), 良(79～70点), 可(69～60点), 不可(59点以下)
学生への メッセージ	経済政策系の科目は、現実経済に強い関心を持っていることが重要です。つまり、インターネット、テレビ、新聞、雑誌等で地域経済動向を積極的に把握するように努めることが重要です。